

囃子方の太鼓は、直径二六センチメートル、胴長三〇センチメートルの締太鼓で横に置いて両面を打つ。

芸能の構成と内容……この舞は「山がかり」といい、「西山獅子」と同じく次の種目からなる。

① 出は、② きり、③ 山がかり、④ きり、⑤ 歌、⑥ 岡崎、⑦ 雌獅子かくし、⑧ 岡崎、⑨ 入りは

これらのうち「③ 山がかり」以外は、すべて「西山獅子」の「庭がかり」の該当種目とほぼ同じであるので、

「③ 山がかり」のみ紹介する。

③ 山がかり……雌獅子を中にして立ち、頭を左右に振る。次に雌獅子が右足だけを踏み出して左前に進み、中腰で片方の手足を交互に伸ばしながら摺り足でもどる。さらに今度は、左足だけを踏み出して右前に進み、同じく摺り足でもどる。これを三回繰り返す。

続いて、雌獅子と次郎が位置を交換して次郎が中に立ち、次郎は雌獅子と全く同じに舞う。次郎が終わると、次郎と太郎は位置を交換し、太郎もまた同様に舞う。さらに続いて三匹が一緒に両手を広げた「鳥ばね」の姿で前に進み出て座り、両膝について摺りながらもどる。元の位置に帰ったところで雌獅子が中央に移って終わる。

⑤ 歌について

社前で奉納の時

へまいる来てよこれのお橋を見申せば 黄金ももよせ白銀の橋白銀の橋

へまいる来てよこれのお庭を見申せば 四方四面の枡形の庭枡形の庭